

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年11月15日 (2018.11.15)

【公開番号】特開2018-68317(P2018-68317A)

【公開日】平成30年5月10日 (2018.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2018-017

【出願番号】特願2017-252866(P2017-252866)

【国際特許分類】

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/34 Z N A Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月28日 (2018.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

3'末端側から5'末端側へ方向に第1の配列、対象配列及び第2の配列を含む一本鎖の核酸又は該一本鎖を含む二本鎖核酸である標的核酸を定量するためのキットであって、5'末端側から3'末端側へ方向に特定配列、ランダム配列及び第1の配列に相補的な配列を含み、かつ、ランダム配列の種類の数に応じて複数種類の第1のプライマー及び核酸合成酵素を含み、かつ、ヌクレアーゼ、第2の配列を含む第2のプライマー及び特定配列を含む第3のプライマーを含まない第1の溶液と、

ヌクレアーゼを含む第2の溶液と、

前記第2のプライマー、前記第3のプライマー及び核酸合成酵素を含み、かつ、前記第1のプライマーを含まない第3の溶液と

を含み、かつ、

前記第1の溶液は、前記第2の溶液及び前記第3の溶液とは異なる個別の溶液として存在する、前記キット。

【請求項 2】

前記標的核酸の1分子ごとに、前記ランダム配列の1種類が対応した一本鎖の核酸を得るように使用される、請求項1に記載のキット。

【請求項 3】

前記ランダム配列は4～20のいずれかの塩基数を有するランダム配列であり；又は、前記ランダム配列の種類数は $10^2 \sim 10^{15}$ のいずれかの数である、請求項1又は2に記載のキット。

【請求項 4】

前記キットは、前記標的核酸及び前記第1の溶液を用いて核酸伸長反応を実施し、次いで該核酸伸長反応後の溶液に前記第2の溶液を加えてヌクレアーゼ反応及びヌクレアーゼ失活反応を実施し、次いで該ヌクレアーゼ失活反応後の溶液を前記第3の溶液に加えてPCRを実施して二本鎖核酸を得ることを含むように使用され、かつ、

前記第1の溶液、前記第2の溶液及び前記第3の溶液はそれぞれ個別の溶液として存在する、請求項1～3のいずれか1項に記載のキット。

【請求項 5】

前記標的核酸は、前記ランダム配列の種類の数並びに前記キットを使用して測定された前

記対象配列及び前記ランダム配列の組み合わせの数により、下記数式（１）
【数１】

$$N = \ln \left(\frac{C - H}{C} \right) \times (-C)$$

（１）

（式中、Nは標的核酸の数を表わし；Cはランダム配列の種類の数を表わし；及び、Hは
測定された対象配列及びランダム配列の組み合わせの数を表わす）
により定量される、請求項１～４のいずれか１項に記載のキット。